

令和7年12月10日
スポーツ審議会ヒアリング資料



ワールドマスタースゲームズ2027関西

公益財団法人
ワールドマスタースゲームズ2021関西
組織委員会

事務総長 木下 博夫



ワールドマスタースゲームズとは

1

国際マスタースゲームズ協会（IMGA）が主宰
概ね30才以上であれば誰でも参加でき、4年ごとに開催される

世界最大級の生涯スポーツの国際総合競技大会

参加基準は年齢のみ

予選なし、
複数種目も登録可能

元プロ・アマ選手
問わず出場可能



誰もがメダリスト候補者！！

初戦から海外参加者との対戦が可能であることもワールドマスタースゲームズの特徴。競技種目は年代別で実施され、各年代別にメダルが授与されます。



国際マスタースゲームズ協会（IMGA）とは



年齢、性別、人種、宗教、そして競技レベルにかかわらず、スポーツ愛好家同士の友情や相互理解を奨励している世界的なマスターススポーツの代表団体で、スイスのローザンヌに本拠を置きます。

国際的な総合スポーツ大会を組織すること、スポーツを生涯続けることにより個人の身体能力の向上が可能であることの啓発（世界中の成人に対し定期的にスポーツの実施を促し、マスタースゲームズに参加するよう呼びかけ）を行っています。

本協会の目的は、“**スポーツ フォー オール**” ～Sport for All～ のオリンピック憲章における哲学の普及を行い、オリンピック・ムーブメントを支持することです。

これまでの開催大会

2

第1回(1985)

トロント
＜カナダ＞



61か国・8,305人

第2回(1989)

ヘアニング、
オールボー、オーフス
＜デンマーク＞



76か国・5,437人

第3回(1994)

ブリスベン
＜オーストラリア＞



71か国・23,659人

第4回(1998)

ポートランド
＜アメリカ＞



101か国・11,000人

第5回(2002)

メルボルン
＜オーストラリア＞



97か国・24,886人

第6回(2005)

エドモントン
＜カナダ＞



89か国・21,600人

第7回(2009)

シドニー
＜オーストラリア＞



95か国・28,676人

第8回(2013)

トリノ
＜イタリア＞



107か国・19,000人

第9回(2017)

オークランド
＜ニュージーランド＞



106か国・28,578人

第10回(2025)
台北市・新北市
＜台湾＞



約 25,000人

第11回(2027)
関西＜日本＞



50,000人（目標）

Point
1

初めての
広域開催

Point
2

参加者約5万人目標
過去最大規模の大会

ワールドマスタースゲームズ2027関西 概要

- 1 開催期間** 2027年5月14日（金）～ 30日（日）の17日間
- 2 開催競技** 公式競技 35競技59種目（他 オープン競技実施）
- 3 開催場所** 福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県
徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市
- 4 参加目標** 参加者5万人（国内3万人、国外2万人）
- 5 主 催** 公益財団法人ワールドマスタースゲームズ2021関西組織委員会
開催府県政令市実行委員会及び開催市町等実行委員会
- 6 共 催** 公益財団法人日本スポーツ協会、公益財団法人日本パラスポーツ協会
- 7 後 援** スポーツ庁

〔令和元年6月21日 閣議了解〕（抜粋）

国際マスタースゲームズ協会の主催により、関西で開催されるワールドマスタースゲームズ2021関西は、国際親善、スポーツの振興等に大きな意義を有するものと認められますので、大会の運営に当たる公益財団法人ワールドマスタースゲームズ2021関西組織委員会に対し、政府は協力するものとする。



ワールドマスタースゲームズの特徴と楽しみ方



「する」 ~do~

スポーツを愛する人々なら誰でも参加可能！
インクルーシブを実践するオープン型の大会



「みる」 ~watch~

家族や仲間も応援に来る、**世代を超え**
一緒に楽しむスポーツ大会



「ささえる」 ~Support~

ボランティアとしても参加可能
開催地住民も巻き込んだ大会運営



「集う」 ~gather~

大会参加者同士、ボランティア、地域住民と…
たくさんの**新たな出会いと交流**を生む大会

「楽しむ」
~enjoy~



「巡る」 ~travel~

大会参加者（国外）の滞在平均15日間
スポーツツーリズムを実践した大会

ワールドマスタースゲームズ2027関西がめざすもの

日本における新しいスポーツ文化の定着

スポーツを通じた健康社会づくり

- ・ 30歳以上であれば、資格も予選もなしで参加できる大会づくり
- ・ 障がい者部門の設定や、健常者と障がい者が共に競う競技の実施

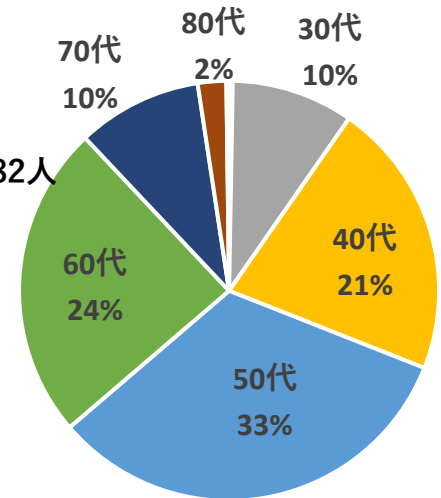
スポーツツーリズムの展開と地域の文化交流

- ・ インバウンド観光の質的深化と域内各地への展開
- ・ オリジナル交通パスや特別体験プランを各地で企画
- ・ 宿泊サイトにより、選択肢の多い宿泊・観光プランの提供

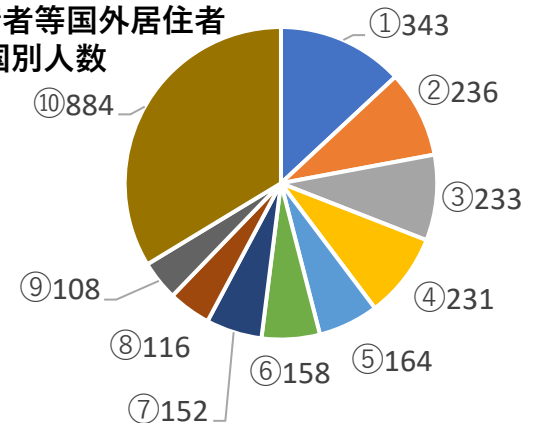
スポーツ関連産業の振興と健康経営への取り組み

- ・ 生涯スポーツ人口の拡大による新たな需要者層の掘り起こし
- ・ 企業ぐるみでの大会参加など経済界の積極的参画

延期前申請者等18482人の年代別割合



延期前申請者等国外居住者2625人の国別人数



- ① オーストラリア
- ② カナダ
- ③ アメリカ
- ④ モンゴル
- ⑤ 香港
- ⑥ インド
- ⑦ ニュージーランド
- ⑧ ドイツ
- ⑨ イギリス
- ⑩ その他

メジャーパートナー



パートナー



サポーター



開催に向けた課題と対応

周知度の向上と参加者獲得(目標:国内3万人、海外2万人)

- ・国内外の**類似大会・大規模スポーツ大会等**におけるPR活動の展開
- ・**首都圏**における周知度向上を企図し、スポーツ施設等におけるPRの集中展開
- ・メールアドレス登録者、過去大会参加者等に対する**DM送付とSNS**の積極活用

広域開催の強み発揮と弱み克服

- ・開催府県市町ごとの**特色ある多彩なおもてなし**
- ・広域周遊観光の誘発による**滞在の長期化と経済効果**への期待
- ・長距離移動の負担感の解消 ⇒ 広域周遊パスの検討、シャトルバスの運行
- ・大会運営の効率化と一体感の創出 ⇒ 組織委員会+府県市実行委員会方式

過去WMG開催期間中の
国外選手滞在平均日数
15.8日

大会効果の波及とレガシーの定着

- ・**開催地各地の創意工夫**による効果の最大化（観光物産、地域スポーツ、国際交流等）
- ・国際大会、競技大会**運営の経験とノウハウ**の習得（関西マスターズゲームズの継続的開催、地域スポーツコミッションの創設）
- ・大規模スポーツ大会の**広域開催モデル**の提示（関西広域連合スポーツ部の設置、広域周遊のしくみづくり、スポーツ施設の府県間連携と分担）
- ・**経済界、産業界**におけるスポーツへの関心と参画（関西スポーツ応援企業表彰（関経連）の創設、従業員のスポーツ・健康づくりへの取り組み、所属アスリート等による地域貢献）

開催本番までのプロセス

2025年12月9日

大会概要・参加規約等の公表、募集開始告知

2026年 春

■1月14日 アーリーエントリー受付開始

※2021年延期前大会申込者等

■3月2日 一般エントリー受付開始

2027年5月 ワールドマスターズゲームズ2027関西
開 催

■2019ラグビーW杯、2020東京オリ・パラに続く
大規模国際大会（第2期スポーツ基本計画）

■全国的・国民的イベントとしての盛り上がり期待

■皆様のご理解とご支援をお願いします

